

## 歯科衛生士のためのインスツルメンテーション ——解剖学的ポイントと臨床ケースからわかる納得のテクニック

小森朋栄・塩浦有紀・児玉加代子・山口幸子・吉田エミ 著

A4 変判・112頁・定価(本体3,700円+税)  
2014年2月4日 ヒョーロン・パブリッシャーズ刊

大野 綾子

(東京都中央区/ナオ歯科クリニック)

### 実にわかりやすい参考書

私が学生時代に学んだ「スケーリング・ルートプレーニング」という概念から、新たに「インスツルメンテーション」という言葉に姿を変えている本書では、学ぶことがたくさんあります。

インスツルメンテーションに欠かすことができないもの、それは歯根の形態をイメージすることです。これは私も含め、苦手意識の強い方が多いと思います。そんな方にぜひおすすめしたい一冊です! 歯根形態の特徴がとてもわかりやすく明示されており、ページをめくる手が止まらなくなり、読むと途端にインスツルメンテーションを行いたくなる予感がします。“早く試したい!”という衝動に駆られる歯科衛生士には、道が拓かれていると思います。

### お・も・し・ろ・い

前半では、最小限の侵襲で快適な歯周環境を提供するための基本知識、患者さんの情報収集、ハンドインスツルメントと音波・超音波スケーラーの上手な使い分けなどの基礎を学べます。

後半は上顎前歯、下顎前歯、小臼歯、上顎大白歯、下顎大白歯と5つの部位別にパートが分かれ、ここで

ふんだんに歯牙の解剖学的ポイントを学べます。各パートでそれぞれ具体的に2症例を提示しており、口腔内写真とエックス線写真とを照らし合わせて、口腔外で再現された同部位にインスツルメントをどのように当てているのかが見てとれるようになっていきます。これがとてもおもしろいのです。

石膏模型に症例の対象歯を真似て並べ、歯肉はスケルトンに加工されているため、普段はブラインドで行う操作が透けて見えるので、インスツルメントの先端をどの向きで、どのように操作しているのかが、本当によくわかります。

経験ある歯科衛生士が見れば、“わかるわかる”“そうそう、そこが難しいよね”と頷きたくなり、新人の方は“なるほど、このように当てるとか!”とイメージが膨らみます。

### インスツルメント選びは真似から

そして、各パートでは著者オススの「My Instruments」が紹介されています。インスツルメントには様々な種類があるため、何を使ってよいものかと悩みますが、経験を積まれている方が提示したものを参考にして選べるのは心強いのではないのでしょうか。参考というよりも、は



じめは真似をして同じものを使っていけば、少しずつ自分に合うインスツルメントと出会える近道になると思います。

### 新たなバイブルとして

本書においてビジュアル化された口腔内のイメージを参考にすることで、今後は自分の患者さんの口腔内に透視するテクニックを獲得できると思いますし、臨床のヒントがたくさんあります。これからインスツルメンテーションを始める方、経験を積んでさらにスキルアップを目指す方、子育てがひと段落し仕事に復帰する方……、それぞれの視点で捉え、新たなバイブルとして必ずや私たちの味方になる心強い一冊に間違いありません。

\*

早速ですが、もうすぐ歯科衛生士2年目となる後輩におすすめしたいと思います。